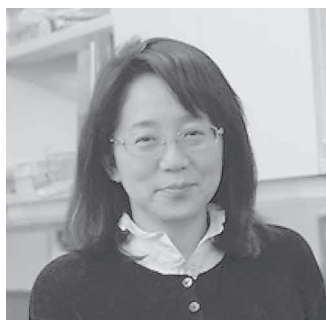


# 第65回全国中学校理科教育研究会 第7回近畿中学校理科教育研究会 第53回兵庫県中学校理科教育研究大会

## 兵庫大会

### 二次（最終）案内



記念講演

理化学研究所  
生命機能科学研究センター  
網膜再生医療研究開発プロジェクト  
プロジェクトリーダー  
高橋 政代 医学博士

#### 主催

全国中学校理科教育研究会／近畿中学校理科教育研究会／兵庫県中学校教育研究会理科部会

#### 後援

文部科学省／国立研究開発法人科学技術振興機構／全日本中学校長会  
全国小学校理科研究協議会／日本理化学協会／日本生物教育会／日本地学教育学会  
兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／兵庫県中学校長会／神戸市立中学校長会  
神戸市小学校理科研究会

#### 協賛

(公社)日本理科教育振興協会／(公財)東レ科学振興会／(公財)ソニー教育財団  
(公財)日本教育公務員弘済会兵庫県支部／日本教育用理科機器協議会



【研究主題】 科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育

【大会主題】 科学的な探究活動を通して、学びに向かう力を育む理科教育  
～自然や社会との主体的な関わりの中で～

【開催期日】 平成30年8月8日（水）～10日（金）

【開催会場】 ANA クラウンプラザホテル神戸・神戸芸術センター（神戸市）

第65回全国中学校理科教育研究会兵庫大会運営委員会

# ご 案 内

第 65 回全国中学校理科教育研究会兵庫大会を、下記の要領で開催いたします。つきましては、ご多忙の折とは存じますが、多数の皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、各所属長におかれましては、理科教育振興のために関係職員への周知並びに参加につきましてご高配を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

## 研究主題

科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育

## 大会主題

科学的な探究活動を通して、学びに向かう力を育む理科教育  
～自然や社会との主体的な関わりの中で～

## 大会主題設定にあたって

近年、科学技術の発展はめざましく、われわれのくらしはますます便利になっている。とりわけ、ICT の革新が生活様式に大きな変化をもたらしている。その中で、日本人によるノーベル賞の受賞が相次いでいることはたいへん喜ばしいことである。一方、世界的にはエネルギー問題や気候変動による環境問題や大規模災害、食糧問題など、人の生活と自然に起因する課題が山積している。また、国内に目を向けると、前述の課題はもとより大地震や火山噴火等の自然災害も多発し、甚大な被害が出ている。このようにわれわれの生活と科学や自然環境はますます切り離せない状態になってきている。

このような中、理科教育においては、自然に親しみ、自然の事物・現象に対する関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うことが重要な課題となっている。しかし、全国学力・学習状況調査をはじめとする種々の調査からは、科学に対する関心が低いことや、自然体験・生活体験が乏しくなっていることが窺える。

一方、平成 29 年 3 月に文部科学省から新学習指導要領が公示された。ここでは、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等の涵養」、「生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」の 3 つの柱に沿って整理され、『主体的・対話的で深い学び』や『カリキュラム・マネジメントの実現』が方向性として示されている。理科においても、子供たちの自然体験や生活体験が科学と密接に結びつくものであることを気付かせ、また、理科の学びが生活や社会に開かれたものであることを認識させる必要がある。そして、この観点が将来、科学技術社会を生きる子供たちの力につながると確信するものである。

第 60 回東京大会において研究主題が設定され、5 年が経過した。第 65 回大会となる今大会は、これまで 5 年間の成果を振り返り、これから進むべき方向を考える折り返しとなる。そこで、新しい学習指導要領改定案を踏まえ、自然や社会との主体的な関わりの中で「科学的な探究活動を通して、学びに向かう力を育む理科教育」を大会主題とした。

兵庫県南部地震を体験し、23 年の時を経て復興した自然あふれるこの兵庫県で、全国各地で行われている研究実践の発表を通して活発な討議が行われることを期待する。

## 開催期日・会場

平成 30 年 8 月 8 日（水）～ 10 日（金）

ANA クラウンプラザホテル神戸・神戸芸術センター

## 日 程

1 日目 8 月 8 日（水）【会場：ANA クラウンプラザホテル神戸】

13:30	14:00	15:20	15:30	16:50	17:20	18:10	18:30	20:30
受付	役員会	理事会	写真	ブロック会	レセプション			

2 日目 8 月 9 日（木）【会場：神戸芸術センター】

9:00	9:30	10:30	12:00	13:30	17:00
受付	開会式	文部科学省講演	昼食	分科会	

3 日目 8 月 10 日（金）【会場：神戸芸術センター】

9:00	9:30	10:00	11:30	12:30
受付	記念講演	閉会式	エクスカージョン（教育視察）	

## 講 演

文部科学省講演 文部科学省初等中等教育局 主任視学官 清原 洋一 先生

「これからの理科教育の展開 - 学習指導要領改訂を受けて -」

記 念 講 演 理化学研究所 生命機能科学研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト  
プロジェクトリーダー 高橋 政代 医学博士

「再生医療とロービジョンケア」





# 分科会発表者と主題一覧

第1分科会 教育課程	「主体的に課題解決に取り組み、学びに向かう力を育む教育課程」			
	北海道 (北海道)	池田 忠寛	北海道教育大学附属函館中学校	理科の魅力を生かした単元デザイン －函館市中学校理科研究会や附属中学校での実践を通して－
	九州 (熊本県)	一安 恵	合志市立合志中学校	粘り強く課題に取り組む生徒を育成する理科授業の創造 －「問いの工夫」と「振り返りの場面設定」の手立てを通して－
	近畿 (兵庫県)	永森 裕二 鈴木 雄也	神戸市立玉津中学校	神戸市の理科研究部の取組と理科教育の特色
	中部 (石川県)	岡元恵里樹 新藏 里紗 原 宏史	金沢市立野田中学校 金沢市立兼六中学校 金沢市立長田中学校	「深い学び」を追求する主体的・対話的な学習 －観察・実験活動を通して－
私立・国立	山内 康裕	武庫川女子大学附属中学校高等学校	小学校から高等学校への架け橋として －中学校理科教育課程の実践提言－	
第2分科会 学習指導	「主体的・対話的で深い学びを通して、科学的な資質や能力を育む学習指導」			
	関東甲信越 (千葉県)	吉原 尚寛	銚子市立第五中学校	生徒に継続的な疑問をもたせるための指導法の工夫 －2学年「電流」における問題解決型学習の単元構成と指導法の工夫を通して－
	九州 (長崎県)	山下 和孝	佐世保市立江迎中学校	協同的な学び（対話の）時間を生み出す工夫 －時間短縮のためのICT活用や学級環境づくり－
	私立・国立	副島 麻衣	神戸大学附属中等教育学校	学習意欲を高めるための「1時間1アクティビティ」 －多様な授業形態がつくる、学び合う集団－
	中四国 (岡山県)	別役 昭夫	岡山市立香和中学校	資質・能力を高める探究的な授業のあり方 －自分の考えをまとめて表現する力を伸ばすための、対話を重視した探究的な授業の工夫－
近畿 (滋賀県)	西村 章	草津市立草津中学校	自己効力感を高める観察・実験の取り組み －ICT機器を活用した授業を通じて－	
第3分科会 観察・実験	「研究活動を通して、科学的に調べる能力と態度を育む観察・実験」			
	中部 (愛知県)	矢野 貴裕	名古屋市立高針台中学校	習得した知識を活用する力を高める理科学習
	東京 (東京都)	吉田 勝彦 渡辺 直樹	練馬区立八坂中学校 文京区立茗台中学校	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法の開発 －自ら学んだ知識や概念を活用する学習活動を通して－
	東北 (岩手県)	菊池 永	盛岡市立上田中学校	生徒が「自分事」として主体的に学ぶ授業づくり －魅力的な教材を開発し、「学びに向かう力」を育む工夫－
	関東甲信越 (埼玉県)	岡本 理沙	狭山市立入間野中学校	筒型ダニエル電池の開発と授業実践 －科学的に探究する力を育成する効果的な教材を目指して－
近畿 (兵庫県)	赤松 弘一	明石市立二見北小学校	身近な自然に対する探求心を育むための実践 －自然への誘（いざな）い 理科通信「播磨探検」をきっかけに－	
第4分科会 環境教育	「自然や社会との関わりを通して、科学技術社会を生きる力を育む環境教育」			
	北海道 (北海道)	小紙 雅之	札幌市立米里中学校	かけがえのない体験を約束する学びのデザイン －「学級畑」を中心に地域企業と連携した体験的で課題探究的な環境教育－
	近畿 (京都府)	牧野 茂樹	京都市立大原小中学校	国蝶オムラサキを通して大原の自然を考える －地域と連携して環境教育をすすめる－
	九州 (沖縄県)	内原 徹	石垣市立崎枝中学校	身近な環境調査を活かした教材化の工夫 －石垣島淡水域の水質とそこに生息する生物調査を通して－
	私立・国立	三井 太司 雨宮 久仁	国立兵庫教育大学附属中学校	地域の自然環境を取り入れた環境教育 －学校プールを利用した生物調査－
中四国 (山口県)	藤屋慎一郎	光市立浅江中学校	環境への関心を高め、自然と関わろうとする生徒の育成 －地域教材を環境の視点でとらえ直す－	
第5分科会 学習評価	「豊かな未来の創造を目指し、学びに向かう力を育む学習評価」			
	近畿 (奈良県)	西田 敬子	奈良市立興東館柳生中学校	学びに向かう力、意欲を高める学習評価 －レーダーチャートで自己肯定感の向上を－
	中部 (岐阜県)	松浦 亮太	岐阜大学教育学部附属中学校	「科学的に探究する力」の成長を実感できる学習評価
	東京 (東京都)	有沼 賢二 河野 晃	武蔵村山市立第五中学校 板橋区立中台中学校	科学的思考力を高める指導方法と評価 －対話的な学びを意識して－
	東北 (青森県)	千葉亜希子	青森市立三内中学校	評価を生かした思考力・判断力・表現力の育成 －ルーブリックの評価と「活用」場面の設定を通して－
中四国 (鳥取県)	寺澤 幸司 岡田 芳博	日南町立日南中学校 南部町立南部中学校	学習過程における生徒の思考を可視化し、評価するICT活用の工夫 －課題解決学習におけるタブレット端末の活用方法やプレゼン構成の指導を通して－	

